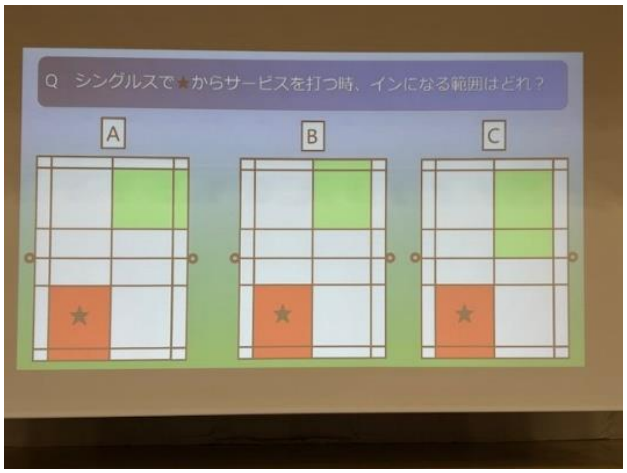
ルール、動き方を覚えるために（バドミントン）

就業技術科

１学年／保健体育／４クラス合同／４０人

主な使用機器： 児童・生徒用端末（Microsoft SurfaceGo3）、大型モニター



ルール、ゲームの動き方を正しく理解するために、動き方やサーブのルールを提示した。

きっかけ

◇動き方やルールの説明をする際に言葉の説明だけでは、理解度が低いと感じたため。

◇スライドを使用し、実際の動き方や場面に即したイラストを取り入れることで知識の定着に繋がると感じたため。

活用のポイント

◆知識の定着を図りたい場面や内容についてはアニメーションを使用し、少しでも記憶に残るような工夫を行った。

◆定着を図りたい内容については、授業の最後に振り返り学習カードで問題を出し、定着を図った。

成果（○）と期待（●）

○視覚的な支援を行うことで、理解力の向上を図ることができた。

●次年度以降の実技の際も今年度学習した知識や技能等を生かせるように、学習した内容を確認しながら進めていきたい。

ルール・ポジション説明

就業技術科

１学年／保健体育／４クラス合同／４０人

主な使用機器：児童・生徒用端末（Microsoft SurfaceGo3）、大型モニター

ルールやポジション、実際の試合映像の動画も混ぜ合わせ、説明をした。

きっかけ

◇球技に関して知識の少ない生徒に関して言葉の説明だけでは理解させることが難しいと感じたため、イラストを使用し、実際の場面に即したイラストを多く取り込み視覚的にイメージのもてる説明を行った。

活用のポイント

◆知識として覚えて欲しい、ルール・ポジションのイラストを映し、実際のコートに生徒を立たせて説明を行った。

◇覚えて欲しい箇所は授業の最後に振り返りカードで問題を出し、定着を図った。

成果（○）と期待（●）

○映像と実際の場面の２観点からみることで生徒の反応も変わってきた。

●体育では、手本動画を作る（教材研究）に時間が多くかかるので、準備時間を短くしたい

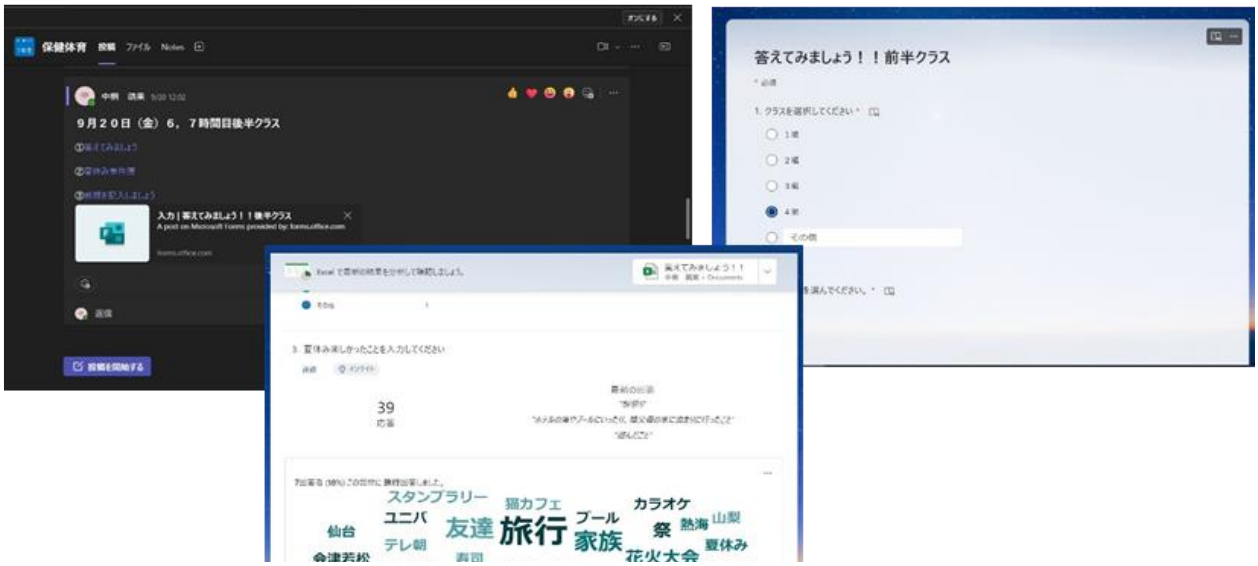
タブレット端末を使用した保健体育（保健）の授業

就業技術科

１学年／保健体育／４クラス合同／４０人

主な使用機器： 児童・生徒用端末（Microsoft SurfaceGo3）
指導者用端末（Microsoft Surface）、大型モニター

使用アプリ：Microsoft Teams、Microsoft Forms、Microsoft PowerPoint



きっかけ

◇保健の授業では、教員が一方的に話す授業になりがちで飽きやすい。PC で回答し、匿名でみんなの意見を見たりしながら他の人の意見を見聞きする機会を取り入れた。

◇Microsoft Teams を使い慣れていない段階であったが、使うことに慣れさせたいと考えたため。

活用のポイント

◆Microsoft Forms で答えることで、手を上げて答えるより意見を言いやすい

◆様々な意見を伝えることができる

◆情報の授業で行ったことの応用編として行うことができる

成果（○）と期待（●）

○教科書を見るだけ、プリントを書くだけ、話を聞くだけの授業ではなく、自分の意見を他の生徒に伝えることができる

○挙手で意見を伝えることに抵抗がある生徒も伝えることができる

●PC 操作に慣れていない生徒に、教員が付く必要があるため、教員も行い方を知る必要がある。

iPad を活用した生徒主体の話し合い

就業技術科

３学年／保健体育／４クラス合同／４０人

主な使用機器： 指導者用端末（Apple iPad）

授業のポイントで止めたり、スロー再生したりすることで生徒の理解が深まると考え実施した。

きっかけ

◇言葉だけの話し合いだと実際、どの部分かイメージしにくい生徒もいるため視覚的な支援ができるとよいと考え、試合の様子を動画で撮ろうと考えたため。

◇フィードバックでポイントとなるところを止めたり、スローにしたりすることで生徒の理解が深まると考えたため。

活用のポイント

◆動画を活用することで話し合いのイメージの共有ができ、積極的に話し合いに取り組むことができる。

◆動画でのフィードバックは何回も繰り返してみることができる。

成果（○）と期待（●）

○撮影した動画を活用して話し合いができていた。

○教員からのフィードバックは生徒も理解しやすくできていた。

●動画の時間が長いため、注目する場面を明白にすることで活用の効果が高まる。

キックベース

就業技術科

3 学年／保健体育／4 クラス合同／４０人

主な使用機器：児童・生徒用端末（Microsoft SurfaceGo3）、指導者用端末（Apple iPad）

① キックベースの授業の中で、試合の様子を指導者用端末で撮影する。

② 振り返りの場面で自分たちの試合の様子を見て、良かったプレーや改善点を相談しあう。

③ 次の授業の導入の場面で、前回の試合の中から「ワンポイントアドバイス」として良かった場面や、工夫が必要な場面を提示してどうしたらよいのか考える時間を作る。

ワンポイントアドバイス

きっかけ

◇楽しく試合をする中で、自分たちのプレーを振り返る際に「忘れた」「覚えてない」と、思い出すことが難しいこと多いので、実際にどんな動きができていたのか見ることで意見が出しやすくなっていた。

活用のポイント

◆けがや体調不良等でなかなか授業に参加できない生徒も、この活用方法をすることで話し合いに参加できていた。

◆自分たちの動きを見ることで、具体的な改善策を話し合うことができていた。

◆振り返りを始める際の準備に時間がかかる。

成果（○）と期待（●）

○ナイスプレーやチームの改善点に自分たちで気付くことが増えた。

●準備に時間がかかり、屋外だと大画面で写せないので児童・生徒用端末でアプリ等を通して振り返りができるとよいのではないか。児童・生徒用端末で行えるような環境を作る。

パリオリンピック・パラリンピックを知ろう

就業技術科

３学年／保健体育／４クラス合同／４０人

主な使用機器： 指導者用端末（Microsoft Surface）、大型モニター

① Microsoft PowerPoint で作成し、体育館の大型モニターに映した。
② 途中で動画を入れることで生徒が興味をもつようにした。
③ 夏休みの宿題で生徒が提出したオリパラ新聞で気になった選手や生徒が多く取り上げていた競技を扱うようにした。

きっかけ

◇夏季パリオリンピック・パラリンピックに興味をもってもらいたい。
◇スポーツに興味がない生徒にも動画等を視聴することで、スポーツの面白さを知ってほしい。

活用のポイント

◆写真や動画を使用することで視覚的に分かりやすいようにする。
◆動画を視聴することで、試合の臨場感を味わえるようにする。

成果（○）と期待（●）

○オリンピック・パラリンピックを見ていない生徒も興味をもって Microsoft PowerPoint や動画に注目することができた。
●4 年後のロスオリンピックやその他の世界大会など様々なスポーツの大会を見るきっかけになればよい。
●パラリンピックを見て障害ありなしに活躍できる場があり、活躍している人たちがいることを知ってほしい。

オンライン学習デーの前に Teams を練習しよう！

就業技術科
１学年／情報／２クラス合同／２０人

主な使用機器：児童・生徒用端末（Microsoft SurfaceGo3）、モニター、書画カメラ等

就業技術科１学年は７月に一人１台端末が配布され、１０月８日オンライン学習デーが実施された。オンライン学習デーに向けて Teams の操作方法の学習を行ったが、オンライン会議に参加するまでの手順については複雑な操作が多いが、パソコン室のモニターは教員のパソコン画面と連動しており、生徒はオンライン上で教員の画面を見ながら操作することができる。生徒は手元の一人１台端末を操作しながら、目の前のモニターで状況を確認することによって、自分で会議に入ることができた。口頭での理解が難しい生徒もいるので、画面を見て操作できる生徒もいる。今後も日頃から ICT 機器を利用することで習熟させていきたい。

きっかけ

◇１学年は一人１台端末を使う学習が初めてなので、操作方法ついて、基礎・基本を定着させることが課題である。

◇１学年の情報科の授業は、週１時間しか授業がないので、短時間の中で一人１台端末や Teams の操作方法に ICT 機器を活用して分かりやすく指導することが重要な課題となっている。

活用のポイント

◆１学年はタイピングや操作方法など習得できていない生徒が数名いる。言葉での説明だけでは難しいので、視覚的・感覚的に操作感を習得できるよう、生徒机に置かれたモニターを活用して授業を行うことが必要である。また、各学校に配属されたデジタルサポーターとの連携を行い、生徒の操作方法支援を行っている。

成果（○）と期待（●）

○ICT 機器を活用して、一人１台端末の操作方法を指導することができた。

○様々な ICT 機器を活用して支援することで、操作に慣れることができた。

●今後は情報科の授業では基本的な操作を習得し、他の授業で活用し慣れていく。

オンライン学習デーの前にオンラインを体験しよう！

就業技術科
２学年／情報／２クラス合同／２０人

主な使用機器：児童・生徒用端末（Microsoft SurfaceGo3）、モニター等

本校のＰＣ室は生徒一人一人に対して、１台ずつＩＣＴ機器（パソコンとモニター）が配備されている。モニターは教員のパソコン画面と連動しており、生徒はオンライン上で教員の画面を見ながら操作することができる。言語での理解が難しい生徒も画面を見たとおりに感覚的に操作ができるため、スムーズな指示理解につながっている。今回、オンライン学習デーのために Microsoft Teams を活用したが、オンライン会議に参加するまでの手順については複雑な操作が多い。生徒は手元の児童・生徒用端末を操作しながら、

目の前のモニターで状況を確認することによって、自分で会議に入ることができた。オンライン学習デー後のアンケートによると、８割の生徒が分かりやすかったと回答し、練習の成果を実感できたようだ。日頃から利用することで習熟させていきたい。

きっかけ

◇オンライン学習デーは今や定例の学校行事となった。本校でも今年度から３学年全員が児童・生徒用端末を所有している。

◇情報科の授業では、少ない授業数の中、児童・生徒用端末や Microsoft Teams の操作方法についていかに分かりやすく指導できるかが重要な課題となっている。今回は目で理解できる授業であることを重点にＩＣＴを活用した。

活用のポイント

◆毎年の行事ではあるものの、年に１回の行事では操作方法など習得しきれない生徒も多数である。言葉での説明だけでなく、視覚的・感覚的に操作感を習得できるよう、生徒机に置かれたモニターを活用して授業を行う。また、各学校に配属されたデジタルサポーターとの連携を密に行うことで、生徒のフォローを入念に行った。

成果（○）と期待（●）

○情報科が中心となり児童・生徒用端末の活用を指導することができた。

○生徒は充実した学習環境の中で Microsoft Teams の操作に慣れることができた。

●今後は生徒だけでなく教員の技術向上も視野に入れ、ＰＣ室の環境を利用したスキルアップ講座なども展開していきたい。

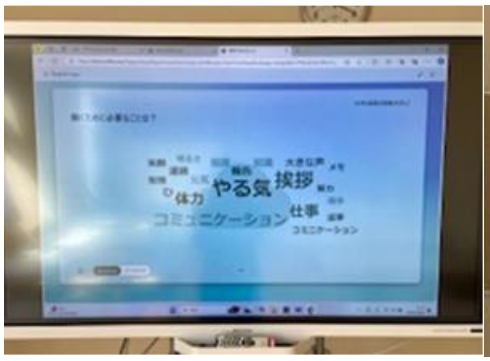
自己理解・他者理解を促すツールとして

就業技術科

１学年／キャリアガイダンス／２クラス合同／２０人

主な使用機器：大型モニター、指導者用端末（Microsoft Surface）

使用アプリ等：Microsoft PowerPoint、Microsoft Forms（集計のテキストマイニング）



① 大型モニターにて Microsoft PowerPoint 資料を提示しながら授業展開。

② 発言の代わりに、Microsoft Forms のアンケート形式で個人の回答を集計しテキストマイニングを使用して提示する。

きっかけ

◇シンプルな操作で主体的に取り組めるアプリケーションはないか。

◇アナログ教材と ICT 機器を活用し作品を作りたい。

◇自分の力で作品を完成させ、達成感を味わわせたい。

活用のポイント

◆生徒が興味・関心がもてる被写体（車）を作成し、それらを動かしながら動画を作成することで主体的に取り組めるように環境を設定した。

◆撮影した動画をすぐに確認でき、微調整できることを意識した。

成果（○）と期待（●）

○教員も生徒も Microsoft Teams の操作に慣れてきた。

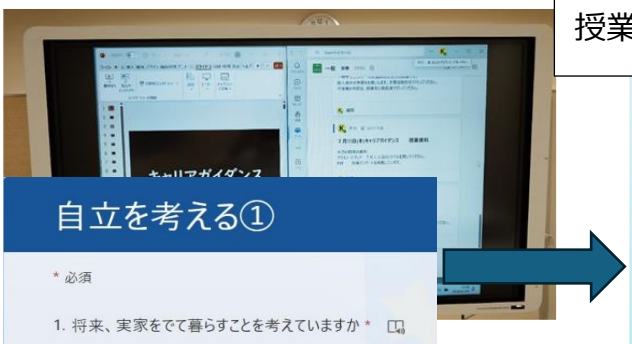
○生徒全員が意見を発表し他者の意見にも関心をもてた。

●操作の切り替え方や授業ソースの準備などの技術面の習得。

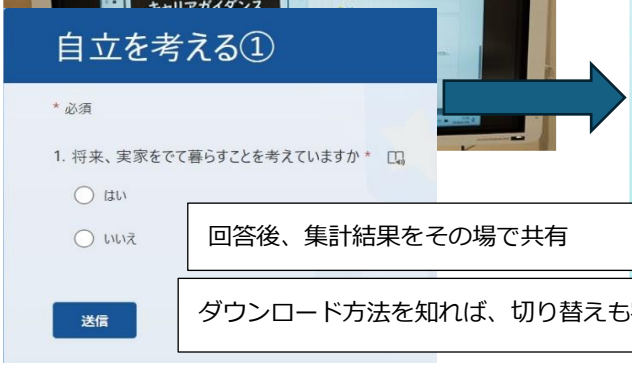
Teams Class Notebook 機能を使用して

就業技術科
２学年／キャリアガイダンス／２クラス合同／２０人

主な使用機器：指導者用端末（Microsoft Surface）　大型モニター
主な使用ソフト：Microsoft Excel　Microsoft PowerPoint



授業始まりは、２画面表示を表示



回答後、集計結果をその場で共有

ダウンロード方法を知れば、切り替えも容易

きっかけ

◇キャリアガイダンスの全時間の授業で活用したい意志をもったこと。
◇紙とペンから画面入力、プリント配布からデータ配布へ転換したい思い。授業者側の印刷、紙ベース配布の負担軽減を図る
◇何かと説教じみた内容になりがちに感じることへの自戒と興味、関心をもてる教材の工夫に向けてツールの模索。

活用のポイント◆授業時間毎に使用する。
◆全体投影は、従来通りのスライド形式とClass NoteBook　提示の並立。
◆キーボード入力、タッチペン入力どちらでも入力が可能。
◆Microsoft Forms　アンケート形式でのテーマに沿った質問や授業の振返り。
◆動画コンテンツの活用
◆全体提示しているスライドを PDF でダウンロード等データ配布し、後日の振返りに活用。

成果（○）と期待（●）

○一人一人 Microsoft Teams を起ち上げる操作に慣れてきた。
○授業までに充電を行っている、充電が足りているか生徒自身で確認している。(授業中に充電しながら使用することは減少してきた)
○アンケート等の回答でこれからの生活に不安なこと、心配としていること等をその時点で確認し、共有、話題とすることが容易である。
●自立の一つとして、情報リテラシーや IT リテラシーの向上。

主体的で参加型の学びを促すために

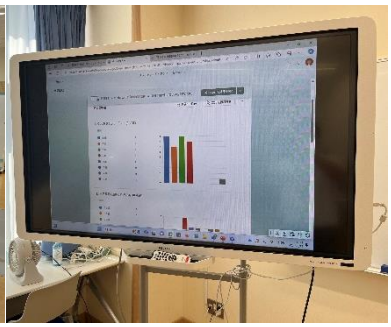
～他者の意見もテキストマイニングを利用し視覚的に理解する～

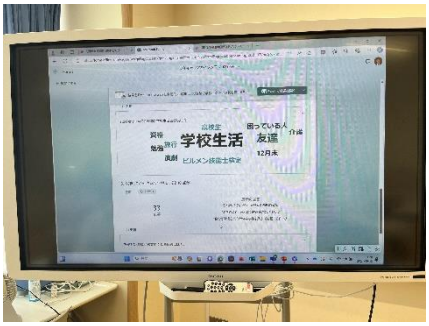
キャリアガイダンス

３学年／キャリアガイダンス／２クラス合同／２０人

主な使用機器： 児童・生徒用端末（Microsoft SurfaceGo3）
大型モニター、指導者用端末（Microsoft Surface）

使用アプリ等： Microsoft PowerPoint、Microsoft Forms（集計のテキストマイニング）





① 大型モニターにて Microsoft PowerPoint 資料を提示しながら授業展開。

② 発言の代わりに、Microsoft Forms のアンケート形式で個人の回答を集計しテキストマイニングを使用して提示する。

きっかけ

◇挙手の発言が特定の生徒に偏りやすく、挙手に抵抗を感じる生徒の意見をくみ取りたい。個人に配布された端末で入力することでリアルタイムに集約したい。

◇一人一人の理解度を確認したい。

活用のポイント

◆使用機器を毎時間使用し、投影はスライド形式。

◆Microsoft Forms アンケート形式で個人の発言の機会、理解力を把握できる。

◆参加型で主体的に行うことができるのではないか。

成果（○）と期待（●）

○生徒の理解度を確認することができた。また、他者の意見も視覚的に把握することができた。

●自分で考えて入力するという作業があることで、主体的に参加することができ、学習意欲の向上を図ることができる。